

MieMu みえむ 無料開放!!

2018年9月8日(土) 9:00 ▶ 16:00

※博物館の開館時間は9:00~19:00です。
※基本展示の観覧料(一般510円、学生300円)が無料となります。

先着300名にプレゼントがごさいます!

クイズラリー
博物館内にあるクイズラリーに参加して、缶バッジ等GETしよう!
9:00~16:00

親子で楽しめる工作コーナー
かわいらしい「木のペンダント」作りや紙バックを利用した「風車」「ぶんぶんゴマ」「キュービック」など親子で楽しもう。
時間 10:00~15:00
会場 3階 ワークショップコーナー
※材料が無くなり次第、終了いたします。

イベント案内

分光器で虹を見よう
太陽や電球、蛍光灯の光は色がついていないように見えますが、実はいくつかの色の光が混じったものです。分光器(光を分ける装置)を作って、光の成分を観察してみよう。
時間 1回目 9:30~10:30 / 2回目 11:00~12:00
3回目 13:30~14:30
会場 2階 実習室 **対象** 小学生
定員 各回 12組(子ども1名、大人1名/組)
※各回の入場整理券を、2階エントランス前にて、各回30分前から先着順で配布いたします。

ごみの分別を学ぼう!
津市の分別区分に従って、ごみを分別してみよう。
時間 10:00~15:00
会場 3階 学習交流スペース
三重県ゴミゼロキャラクター「ゼロ吉」

外来生物を釣ろう! 知ろう!
カメやカエル、魚などの「カプセルトイ」を釣竿で釣ろう。
時間 1回目 11:00~12:00 / 2回目 14:00~15:00
会場 3階 学習交流スペース **対象** 小学生以下
定員 各回先着 50名といたします。

パネル展示
当事業団の事業内容につきまして、パネル展示によりご紹介しておりますので、是非ご覧ください。
時間 9:00~16:00 **会場** 3階 学習交流スペース

会場 三重県総合博物館(MieMu)
三重県津市一身田上津部田 3060
(三重県総合文化センター向かい)

イベントに関するお問合せ 三重県環境保全事業団 総務部
TEL.059-245-7505 担当/川東・笠井・中野
博物館に関するお問合せ 三重県総合博物館
TEL.059-228-2283



電車: 津駅(近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道)西口下車/バス: 三重交通バス津駅西口から約5分、「総合文化センター前」下車/徒歩: 津駅西口から約25分/車: 伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分



じぎょうだん おこな かんきょう しごと 事業団が行う環境の仕事とは？

計画・調査 (けいかく・ちょうさ)

● 環境アセス

道路や工場などを新しく作るときには、作った後に環境がどのように変化するか（どのような影響がでるのか）を事前に調べなければいけません。事業団では、大気、水、騒音、振動、土壌、動物、植物など様々な環境を調べ、その影響を予測し、環境を守るための計画を作ります。

● 一般廃棄物コンサルタント

家庭から出るごみやし尿（おしっこ）の量を把握し、ごみやし尿の処理・処分に必要となる施設を作るための資料作りや計画作りをお手伝いしています。

検査・分析 (けんさ・ぶんせき)

- 水道水、井戸水、温泉水、プール水、浴場水、食品の検査
人間の口に入る水や食べ物には、厳しい基準（守らなければならないよれの程度）が作られています。事業団では、水道水などが安全なものかどうかを調べます。
- 水、土壌、廃棄物、大気、騒音振動、作業環境の分析・測定
水・土壌などの環境分析では、法律で決められた物質が環境中で、人の健康や生活に悪影響を及ぼす状態になっていないかどうかを調べます。
- 異物、製品などの検査
お客様が作る製品中に異物や、異常が無いかを調べます。

けいかく
ちょうさ
計画・
調査

けんさ
ぶんせき
検査・
分析

はいきぶつ
しょうぶん
廃棄物
処分

ISO
しんさ
審査

廃棄物処分 (はいきぶつしょうぶん)

- 工場などから出る“ゴミ”のことを“産業廃棄物”と言います。
- “産業廃棄物”の処分には、“中間処理”と“最終処分”があります。
- “中間処理”とは、“産業廃棄物”をまだ使えるものと選別したり、細かく削り量を減らすことなどを言います。
- “最終処分”とは、どうしても資源として使えなくなったものを埋めることを言います。
- 事業団では、“産業廃棄物”を埋めるための場所（これを最終処分場と言います。）を作って、この場所に“産業廃棄物”を埋めています。そして、埋立てた“産業廃棄物”が安定*するまで管理を行います。
*安定とは、周りの環境に大きな影響がなくなることです。

ISO審査 (あいえずおーしんさ)

- 会社の製品の品質を管理するためには、いろいろな基準や方法があります。この基準がばらばらだと本当に品質が管理されているのかわかりません。そこで、世界中で共通したルールを決めようと、ISO（アイエスオー）という団体が世界共通のルールを決めています。事業団では、会社の仕組みが国際的なルールに合っているの審査する仕事を行っています。
- ルールには、製品の品質を守る ISO9001 や、環境への影響を少なくする ISO14001 や、働く人の環境を守るための OHSAS18001 などがあります。